第22回宇宙科学シンポジウム

P-026 JASMINEにおける国産検 出器を搭載した場合の観 測データの再検討

矢野太平(国立天文台) 他JASMINE チーム



新たな検出器の搭載が検討されている。この新たな検出器におけるJASMINEの観測等級HwとI、Jとの関係や、Gaiaなど他の高精度な位置天文観測データが出てきていることを踏まえて、観測領域の天体がどの程度明らかにされてきているかなどを確認する。

1新検出器における観測帯域での等級への変換式詳細化

- 2 GaiaEDR3 のデータとの比較
- 3 APOGEEによるNSDのJASMINEでの観測可能性

JASMINE

- 赤外線による超高精度位置天文 観測
- 星の位置、距離と運動を測定し、
 天の川銀河の中心核構造と形成
 史を明らかにする。





- 赤外線での位置天文観測衛星JASMINE は、これまでTeledyne のHgCdTe 検出器(H4RG) を候補として検討を進めてきたが、国立天文台において地上用に開発が行われてきた国産のInGaAs 近赤外検出器を宇宙用化し、JASMINEへの搭載をベースラインとする。
- Teledyne HgCdTe 検出器: 1.1 μmから1.7 μm
- •国産 InGaAs 検出器 : 1.1 μmから1.6 μm
- •JやHなどからHwへの変換式が必要だが、その変換式をより詳細に調べる。



 銀河中心方向での赤外観測データであるVVV, 2MASS, Siriusといったカタログの各フィルタに おいてJASMINEでの観測バンドであるHwはどの ようになるのかの検討をおこなった。

VVV, 2MASS, SIRIUSの各種 filter

VVVのfilterについて、 Jバンドfilter、Hバンドfilterそのもの ているデータ(ピークで規格化) の透過率データ、量子効率のデータ、は量子効率、大気の吸収率がすで 大気吸収のデータが与えられている。に含まれている。 それぞれをプロットしたのが左図。

ESO

http://www.eso.org/sci/facilities/paranal/instr uments/vircam/inst.html により filter 情報を 取得 青:Jバンドfilter透過率 赤:Hバンドfilter透過率 **紫:量子効率(OE)** 灰:大気透過率 PWV=1mm, sec z=1 水色:大気透過率 PWV=3mm, sec z=2

PWV: precipitable water vapor



2 MASS の透過率として与えられ

(Cohen et al.2003) https://old.ipac.caltech.edu/2mass/r eleases/allsky/doc/sec6 4a.html#rsr https://ui.adsabs.harvard.edu/abs/20 03AJ....126.1090C/abstract

したがってこのデータを用いてス ペクトル積分を行う。



SIRIUSフィルタとなるが、 データであたえられている のは純粋にフィルタの透過 率のみあり、大気吸収やOE はふくまれていない。

http://www-ir.u.phys.nagoyau.ac.ip/~irsf/sirius/tech/index.html



フィルタ毎の変換式Hw

◎使用データ
ESO IRスペクトラルライブラリを使用した。
http://www.eso.org/sci/observing/tools/standards/IR spectral library.html

吸収の取り扱い A_v=0mag, 15mag, 30mag, 45mag, 60mag を与える事で様々な吸収をうけた天体を検討。 **吸収係数** AJとAKから線形補間する。A(λ)= { (λ-1.2) Ak + (2.0-λ)AJ)}/(2.0-1.2)

35

3

2.5

2

1.5

0.5

-0 5

◎作業内容

VVV, 2MASS, SiriusのJ,Hフィルタを用いてそれぞれにおいてHwを見積る。それぞれのフィッティング関数を最小2乗法にて導出(最小2乗はエクセル使用)。フィッティング曲線の前提条件は2次式、原点を通る(定数項なしの2次式)曲線とした。

VVV filter

 $H = -0.0351x^{2} + 0.7988x$ $3 = -0.0351x^{2} + 0.7988x$ $4 = -0.0351x^{2} + 0.7988x$ -2.5 = -0.5 -0.5 = -0.5

2MASS filter

J-H

 $y = -0.0323x^2 + 0.7829x$

Sirius filter



フィルタ毎の変換式Hw

前スライドよりHwを見積る。VVV, 2MASS, SiriusのJ,H
 フィルタで求めたそれぞれのHw変換式は以下の通り。

VVV:Hw2=0.7988J+0.2012H-0.0315(J-H)2 σ =0.0332MASS:Hw2=0.7829J+0.2171H-0.0323(J-H)2 σ =0.035Sirius:Hw2=0.7796J+0.2204H-0.0326(J-H)2 σ =0.063

 $\delta(i) = data(i) - fitting(i)$ $\sigma = \sqrt{\langle \delta(i)^2 \rangle - \langle \delta \rangle^2}$

それぞれのカタログにおけるHwへの変換式を導出した。ただし、 それぞれの式の違いは小数点2位以下のみである。

GaiaEDR3との比較

- GaiaではGaiaEDR3もreleaseされた。
- GaiaEDR3でどこまで観測されているか、我々の これまでの検討と無矛盾なのかを検討する。

GaiaEDR3でどの距離あたり まで測定できているか

GaiaEDR3&2MASSマッチングデータ

銀河中心領域半径0.7度円内

精度よく距離測定できるΔπ/π<0.2のデータを抽出



精度よく観測されるバルジ天体は存 在するか

JASMINIE観測領域全体 精度よく距離測定できる **|Δπ/π|<0.2**のデータを抽出



おおよそ4kpc程度まで観測されており、精度よく測定されるバルジ領域の天体は存在しない。

精度よく観測されるバルジ天 体は存在するか

JASMINIE観測領域全体 精度よく距離測定できる **Δπ<25μas**のデータを抽出







-0.2

0

0.2

0.4

 π [mas]

0.6

有度よく年周視左が永められる[Δπ/π]<0.2(左図)、あるいは Δπ<50μas(右上)において、バルジ天体(π<0.16mas)は存在しない。 Δπ<100μasでは若干天体があるが、エラーバーの大きさからし て偶然にπ<0.16masに入っている可能性が高い。

This document is provided by JAXA.

0.8

APOGEEでNSDが観測された天体はJASMINEで観測されるか

Schönrich et al.(2015)において、銀河中 心においてNSDの回転がしめされた。 右図。

このデータで、JASMINEで観測される 天体が本当に存在するかを調べる。 THE ASTROPHYSICAL JOURNAL LETTERS, 812:L21 (5pp), 2015 October 20



Figure 1. Overview of APOGEE stars (colored dots) near the Galactic center in Galactic longitude l and latitude b. Colors represent the mean line-of-sight velocity v_{los} of each star and its closest 29 neighbors. Note the division into plates/fields and the clear dipole structure in v_{los} around the Galactic center.

JASMINE領域でのAPOGEEでの天体 の運動と個数

- APOGEE
- SJ全領域抽出
- J-K>5 抽出 (Ak>~3に相当)
- 等級制限なし179
- Hw<14.5mag 147
- Hw<12.5mag 23

クリアに回転成分が見られる。 そうした天体はHw<12.5magで は少数だが、Hw<14.5magまで とるとAPOGEEで観測されてい るほとんどの天体を網羅する。



JASMINE領域でのAPOGEEでの天体の運動と個数

- APOGEE
- SJ全領域抽出
- 4<J-K<5抽出
- (およそ2<Ak<3に相当)
- ・等級制限なし201
- Hw<14.5mag 201
- Hw<12.5mag 28

回転成分がほとんど見られなく なる。



APOGEEでNSDが観測された天体は JASMINEで観測されるか

Ak>3(J-K>5に相当)の天体をプロット (本資料のAPOGEEデータにおいて Ak_wiseと記しているもの)。



J-K毎のJASMINE観測領域の 天体分布



領域1,2の等級,J-K,個数関係

J-Kの範囲毎の等級天体個数関係を示す。個数は2MASS,VVVデータを用い、max(2MASS,VVV)で評価 表において、赤は2MASS、青はVVVのデータ

領域1銀河中心まわり半径0.7deg円

max(2mass,VVV)

14.4

14.5

續載2 _2/1/07dag 0/b/03dag

	. <1 < 0.1 u c	$\underline{s}, \underline{v} \setminus \underline{v} \setminus \underline{v}$		
max(2mass,VVV)				
等級	全体	J-K>3	J-K>5	
12.5	4533	2444	131	
12.6	5108	2841	162	
12.7	5734	3257	204	
12.8	6445	3731	237	
12.9	7220	4295	283	
13	8223	4914	358	
13.1	9274	5623	432	
13.2	10502	6324	510	
13.3	11800	7138	613	
13.4	13182	7996	737	
13.5	14656	8929	878	
13.6	16262	9884	1052	
13.7	18040	10890	1223	
13.8	20000	12025	1407	
13.9	22088	13161	1650	
14	24438	14393	1894	
14.1	26951	15762	2140	
14.2	29716	17090	2396	
14.3	32609	18528	2699	
14.4	35724	19981	3009	
14.5	39184	21529	3316	

2MASS個数と2MASS&VVVの個数

領域1:銀河中心半径0.7deg以内 領域2:-2<l<0.7deg,0<b<0.3deg以内

領域1			
	Hw<12.5mag個数		
N-N	2MASS	2MASS&VVV	
2	5110	5590	
3	4186	4465	
4	1677	1759	
5	241	253	
6	19	19	
7	4	4	
8	0	0	

領域2		
	Hw<12.5mag個数	
/1-L	2MASS	2MASS&VVV
2	3058	3336
3	2444	2576
4	1060	1115
5	131	137
6	10	10
7	1	1
8	0	0

領域1		
	Hw<14.5mag個数	
7-1	2MASS	2MASS&VVV
2	44408	57606
3	38084	48063
4	23035	27607
5	6937	8000
6	973	1147
7	57	79
8	3	5

領域2		
	Hw<14.5mag個数	
J-1/	2MASS	2MASS&VVV
2	25563	33261
3	21516	26907
4	13251	15630
5	3310	3714
6	373	441
7	17	27
8	1	2
8	1	

2MASS&VVVにおいて は、

2MASSに加え、2MASSで 観測されず、VVVのみで 観測されているものを 追加したもの。

 $\label{eq:2} \begin{array}{l} 2mass: Hw=\!0.7829J\!+\!0.2171H\!-\!0.0323^*(J\!-\!H)^{**2} \\ VVV: Hw=\!0.7988J\!+\!0.2012H\!-\!0.0351^*(J\!-\!H)^{**2} \\ \end{array} \\ \begin{array}{l} This \ dotument \ is \ provided \ by \ JAXA. \end{array}$



・観測帯域での等級への変換式詳細化

⇒波長幅が少なくなる効果、長波長側で非線形の効果も含め、2MASS, VVVなど観測装置ごと変換式がどうなるのか、より詳細に検討し変換式を作成した。

・GaiaEDR3 など他のデータの検討

- ・Gaiaで観測される天体で高精度に距離測定できて いるのは4kpc程度である。
- ・Gaiaで年周視差が精度よく測定されているバルジ 天体は存在しない。
- ・APOGEEの観測データより銀河系中心核NSDの天体はJ-K>5にもおよぶ。そうした天体もJASMINEで観測される。